

東近江地域農業センター40周年記念 東近江地域農業者の集いならびに 東近江地域集落営農サミット 2018 開催要領

第1. 趣 旨

水田農業を取り巻く状況が大きく変化する中で、我が国の農業・農村は、国内の農地等を最大限に利用して農林水産物の自給率を高め、国民に良質な食料を安定的に供給するという本質的な役割に加え、地域の基幹産業として地域経済を支え、コミュニティの維持や伝統文化の継承等様々な役割・機能を果たしてきたところです。

しかしながら、担い手の減少や高齢化による後継者不足、耕作放棄地の増大、さらには、農産物の価格低迷による農業所得の低下等、農業・農村をめぐる環境は極めて厳しい状況にあります。又、今年度からは行政による生産数量目標の配分に頼らず、農業者（産地）の主体的な判断により需要に応じた生産・販売が行われることとなりました。

このような中で、本年度は東近江地域農業センターが地域農業振興の中核機構として、設置されて以来40周年を迎えることから、本日の集いを40周年記念事業と併せて開催し、農業・農村を取り巻く環境の変化に対応した東近江地域農業の持続的発展に期するため、管内農業者、集落営農リーダーならびに関係機関・構成団体等が一堂に会し、連携強化を図り取り組めます。

第2. 主 催

東近江地域農業センター

第3. 日 時

平成30年7月29日(日) 受付 13:00 開会 13:30

第4. 会 場

東近江市立八日市文化芸術会館 ホール

(滋賀県東近江市青葉町1-50 TEL 0748-23-6862)

第5. 参集範囲及び人員

各市町農業組合長、集落営農リーダー、農事組合法人、特定農業団体、認定農業者
市町・JA担当者、その他関係機関等 約700人

第6. 日 程

開催次第による

第7. 基調講演

講 師 元農林水産大臣 衆議院議員 石破 茂 氏

演 題 日本農業の現状とこれからの農業について (仮)